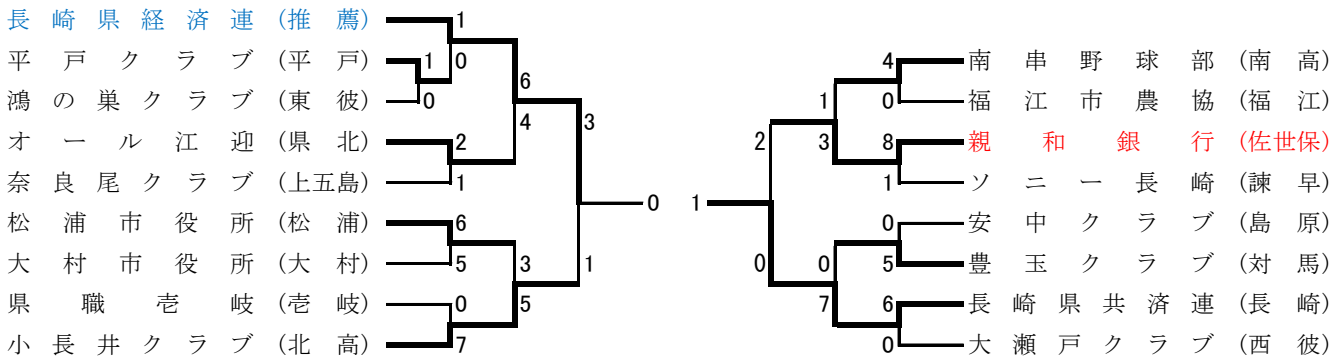


# 前年決勝戦の再現は親和銀行が奪回し7度目の美酒

## 第39回長崎県軟式野球選手権大会

会期：平成元年10月27日(金)～29日(日)  
会場：長崎市宮大橋球場、三菱球場



第39回県軟式野球選手権大会は前年度優勝の県経済連と各地区代表の計17チームが参加。大橋球場で午前8時半からの開会式を皮切りに三日間にわたる大会の幕を開けた。選手入場に続いて寺田克孝大会委員長(長崎新聞社事業本部長)の開会宣言に次いで優勝旗、準優勝旗などの返還があり、前年に死去された松浦継義県軟式野球連盟会長に代わって今年より会長に就任した伊藤一長・大会会長があいさつ。上川善高審判長の競技上の注意に続いて、全選手を代表して野口進・県経済連主将が選手宣誓を行なって開会式を終った。

第1日目は大橋球場で一二回戦5試合と、三菱球場で二回戦4試合の計9試合が行なわれた。

(平成元年10月28日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)



## 井手口恵(平戸)の好投で辛勝

【平戸】打安点

⑦ 近藤	3	0	0
⑥ 山下	3	0	0
③ 古川	1	0	0
⑤ 森田	1	0	0
④ 正木	2	1	0
⑧ 宮田	3	0	0
① 井手口恵	2	0	0
⑨ 大石	1	0	0
9 井手口純	1	0	0
② 作江	2	0	0
19			1 0

【一回戦】◇大橋：第1試合◇ 振球犠盗失残併 1時間19分

平戸クラブ	000	100	0	1	2	6	4	0	0	7	0
鴻の巣クラブ	000	000	0	0	6	0	0	2	1	1	1

【評】A級同士の対戦は、平戸クラブが四回に敵打で得た最小点を井手口の好投で守り切った。この一回死後、森田の四球と正木の遊撃内野安打で一二塁の好機。宮田のあたりは二ゴロだったが送球を遊撃手がはじき森田が三塁を回って決勝点となった。

鴻の巣クラブでは山口省が2安打2盗塁して気を吐いたが牽制死や後続がなかったりで、6年ぶり二度目の選手権は初戦で封じられた。

【鴻の巣】打安点

⑧ 村川	3	0	0
⑦ 山口省	3	2	0
④ 松下	3	0	0
③ 石本	3	0	0
⑨ 村上	2	0	0
① 山口満	2	0	0
② 福田	2	0	0
⑤ 森直	2	0	0
⑥ 森文	2	0	0
22			2 0

## 先取点効果的な江迎 奈良尾、上位に一発出ず

【江迎】打安点

⑥ 森堀	3	1	0
④ 川本	2	1	0
② 博多屋	2	0	0
⑦ 平井	3	0	0
⑤ 吉永	3	0	0
③ 栗原	2	1	0
⑧ 前田	3	0	0
⑨ 松本	3	0	0
① 為田	2	0	0
23			3 0

【二回戦】◇大橋：第2試合◇ 振球犠盗失残併 1時間17分

全江迎	200	000	0	2	6	2	1	3	0	3	1
奈良尾クラブ	001	000	0	1	2	0	1	1	2	2	0

【評】江迎の立ち上がりの2点が効いた。先頭の森堀が二塁内野安打、バントと投手の牽制悪送球で三進。死球出塁の博多屋が一二塁間に挟まれる間に森堀が生還。博多屋も生き三盗、二死後に遊失で加点した。

対して奈良尾クラブは三回に安打の鼻崎をバントで送り森の中前タイムリーで1点を返したのみ。六回先頭の西村が安打も上位が凡退して反撃ならず、2年ぶり10回目の出場でも13勝目は挙げられなかった。

【奈良尾】打安点

⑧ 森	3	1	1
④5 窄口	3	0	0
⑦ 山脇	3	0	0
①9 平田	3	0	0
⑥ 津田	3	1	0
② 宮崎	3	0	0
⑤1 浜村	2	0	0
③ 鼻崎	2	1	0
⑨4 西村	1	1	0
23			4 1

# 県経済連 早川、投打に活躍

【平戸】打安点

⑦ 近藤	3	0	0
⑥ 山下	3	0	0
③ 古川	3	0	0
⑤ 森田	3	0	0
④ 正木	2	0	0
⑧ 宮田	3	0	0
① 井手口恵	2	1	0
② 作江	1	0	0
⑨ 井手口純	2	0	0
	22	1	0

【二回戦】◇大橋：第3試合◇ 振球犠盗失残併 1時間19分

平戸クラブ	000 000 0	0	5	2	0	0	1	3	0
長崎県経済連	010 000 X	1	2	2	0	2	0	5	0

【評】経済連が二回に挙げた1点が決勝点となった。先頭の富永が中前打して二盗。牽制悪送球で三進した二死後に早川が三遊間突破して富永を迎え入れたものだが、三回以降は追加点を奪えなかった。バント安打を含め4安打は前年度優勝チームとしてはもの足りない打線。もっとも早川投手にとってはこの1点で十分。三回と六回に安打と四球で先頭打者を出したが後続を難なく断ち切り、16回目出場の平戸クラブにベスト8入りをさせなかった。

【経済連】打安点

⑥ 野口	2	0	0
⑦ 岩崎	3	0	0
⑧ 白石	3	0	0
② 富永	2	1	0
③ 澤村	3	0	0
⑤ 中田	3	0	0
① 早川	2	1	1
⑨ 尾崎	2	1	0
④ 三崎	2	1	0
	21	4	1

## 松浦市役所が競り勝ち

【二回戦】◇大橋：第4試合◇ 振球犠盗失残併 1時間48分

松浦市役所	102 000 3	6	5	4	0	5	1	7	0
大村市役所	220 001 0	5	3	2	1	3	3	5	0

【評】最終回に大村の左腕・浦辺が息切れ。川上の安打をきっかけに乱れ四死球を呈しては末永と浜崎にタイムリー二塁打され逆転を許した。序盤から点の奪い合い。松浦が初回に辻田と末永の長短打で先制すれば、大村もその裏に走者二人を置いて高浜の三塁打で逆転。二回は久保のソロ本塁打などで2点。三回には松浦が敵失で2点を返すといった具合이었다。大村市役所は11回目の出場だが、最近9年間で5連敗中。



大村市役所 2回裏一死三塁。浦のスライズ(安打)で三走・浦辺生還し、4点目を挙げる

【本】久保 【三】辻田、高浜  
【二】浦辺、末永、浜崎

【松浦】打安点

④ 川上	4	1	0
⑤ 辻田	3	2	0
② 末永	4	2	3
③ 吉田	3	1	0
⑥ 久保田	2	0	0
⑧ 浜崎	4	2	1
⑦ 星野	4	1	0
⑨ 石川	2	0	0
① 福守	1	0	0
① 辻	3	1	0
	30	10	4

【大村】打安点

⑥ 横田	4	1	0
⑧ 西村	3	1	0
④ 山下	3	1	0
② 高浜	4	1	2
⑦ 小川	3	1	0
⑨ 久保	3	1	1
① 浦辺	3	1	1
③ 池田	2	0	0
⑤ 浦	3	1	1
	28	8	5

## 小長井ク 長打でコールド勝ち

【二回戦】◇大橋：第5試合◇ 振球犠盗失残併 1時間22分

県職 宍岐	000 000	0	6	1	1	0	2	3	0
小長井クラブ	000 043x	7	0	5	2	6	2	6	0

【評】宍岐・中尾投手のゆるいタマにタイミングが合わず四回まで仲良く○の付き合いをしていた小長井だったが、五回に岡村の四球を足場に犠打野選に盗塁を絡めて無死二三塁の好機をつかみ、堤の中前タイムリーで2点を挙げた。こうなると小長井のペース。有田と平田に長打が出て2点を加え、六回には堤の三塁打を前後に敵失があり3点を奪って、選手権初出場の県職宍岐に六回コールド勝ちをおさめた。

【三】平田、堤  
【二】有田

【宍岐】打安点

② 永田	3	0	0
⑦ 岩永	2	0	0
H9 竹藤	1	0	0
③ 小川	3	0	0
⑤ 森川	1	0	0
① 中尾	2	1	0
⑨7 新野	2	1	0
⑥ 園田	1	0	0
⑧ 柏木	2	0	0
④ 琴岡	2	0	0
	19	2	0

【小長井】打安点

⑤ 鶴田	3	0	0
④ 堤	4	2	3
③ 黒田	4	0	0
② 秀島勝	2	0	1
⑧ 有田	3	1	0
⑦ 平田	2	2	1
① 久保	3	0	0
⑨ 森	1	0	0
H 牧本	1	0	0
⑥ 岡村	1	0	0
	24	5	5

【福江】打安点

⑧ 嶋里	3	1	0
③ 松本	2	0	0
① 白浜	2	0	0
② 山下	3	1	0
⑤ 田村	3	0	0
⑥ 末留	2	0	0
⑦ 入江	2	0	0
H 家永	1	0	0
⑨ 橋本	2	0	0
9 牟田	1	0	0
④ 江頭	2	1	0
	23	3	0

## 南串、初回に決める

【二回戦】◇三菱：第1試合◇ 振球犠盗失残併 1時間28分

福江市農協	000 000 0	0	7	3	0	2	7	4	0
南串野球部	300 010 X	4	3	2	1	2	0	4	0

【評】南串が初回に浮き足立つ福江市農協の内野陣の乱れに乗じて3点を先取した。この一回死後に増田の安打に相手の4失策で劣せず2点。なおも満塁に豊島の左前打で1点を加えた。五回には四球の井上が投手牽制悪送球、センターの返球ミスで1点挙げて勝負を決めた。

南串の安打はこの2本だけであり、選手権初出場の福江市農協が自滅したといえる。

【南串】打安点

④ 辻	3	0	0
⑤ 井上	2	0	0
① 増田	3	1	1
② 中村	3	0	0
⑦ 原篤	3	0	0
⑥ 豊島	3	1	1
⑧ 原田秀	3	0	0
③ 渡部	1	0	0
⑨ 山崎	2	0	0
	23	2	2

# 親銀、大差でソニーを破る

【二回戦】◇三菱：第2試合◇ 振球 犠盗失残併 1時間8分

ソニー長崎	000 01	1	2	1	0	0	0	1	0
親和銀行	006 11x	8	0	4	1	7	1	6	0

【本】中田

【ソニー】打安点

⑤馬場	2	0	0
⑧高田	2	1	0
⑦森	2	0	0
⑥峰	2	0	0
②里山	1	0	0
③末田	2	0	0
④上田	2	0	0
①高木	2	0	0
⑨永	1	0	0
16		1	0

【評】序盤から安打は出るものの点に結びつかなかった親銀だが、三回に足を生かした攻撃で6点を奪う攻撃を見せ強豪ぶりを発揮した。三回の親銀は2四球などで無死満塁。志賀の打球は平凡な内野ゴロとなったがこの間に二者が還った。さらに投手野選や荒金のタイムリーなどで4点を加え、この回で勝負を決めた。丸本、高柳の新1、2番コンビが揃って2安打し頼もしいところを見せた。ソニー長崎は県選手権デビュー戦の相手が親和銀行だった。

【親和】打安点

⑧丸本	2	2	0
④高柳	3	2	1
⑤黒石	2	0	0
⑦川崎	2	0	0
③久住	2	0	0
⑨志賀	3	1	3
②米倉	2	0	1
①荒金	2	1	0
1中田	1	1	1
⑥酒井	2	0	2
21		7	8

# 着実加点の豊玉クラブ

【二回戦】◇三菱：第3試合◇ 振球 犠盗失残併 1時間32分

豊玉クラブ	101 010 2	5	0	0	0	6	3	7	0
安中クラブ	000 000 0	0	0	1	0	1	0	1	0

【三】平山

【豊玉】打安点

⑧平山	4	2	0
⑦松尾龍	4	2	0
⑤村井	4	3	1
①原田	4	2	2
③小田	4	2	1
⑥小島	4	0	0
⑨田中	3	0	0
②松尾吉	3	0	0
④吉村	3	0	0
33		11	4

【評】豊玉クラブが集中打で得点を重ね、エース原田の1安打1四球の好投もあって完勝した。立ち上がり中軸の連打で先制点を挙げた豊玉は三回にもトップから3連打して1点。七回には2番の松尾龍から4安打のつるべ打ちで2点。五回に三塁打の平山が遊失で還った以外は連打攻勢。上位打線は見事なバッティングだった。安中クラブは二塁を踏んだのが一人だけでは勝ち目はなく、5回目の県選手権で三度目の初戦敗退した。

【安中】打安点

②坂本	3	0	0
⑤堀本	3	0	0
①大町信	3	0	0
⑧8浜本	3	0	0
⑦6上田	2	0	0
③大町好	2	1	0
⑨石山	2	0	0
⑧7出田	2	0	0
④池田	1	0	0
21		1	0

# 共済連、5回に集中打

【二回戦】◇三菱：第4試合◇ 振球 犠盗失残併 1時間20分

大瀬戸クラブ	000 000 0	0	4	0	0	1	0	2	0
長崎県共済連	100 032 X	6	2	2	0	3	3	4	0

【評】一回に県共済連が1点を先取したものの試合の行方は終盤まで分からない展開。しかし共済連は五回に3安打などで3点を奪い勝利を決定的にした。この回の一死後、今村の四球を間に加藤と針崎が安打して下位打線が好機を作った。ここで2番の山口が右前に適時打し二者をかえして試合の流れを完全に共済連のものとした。守っては今村が六回までに1安打に抑える好投で、選手権初出場ながら激戦の長崎地区を勝ち上がってきた実力を見せつけた。

大瀬戸クラブは2年ぶり4回目の選手権だったが、2年前に挙げた初勝利から勝ち星は増えなかった。

【大瀬戸】打安点

⑥宮口	3	0	0
④山野	3	0	0
⑧北川	3	0	0
②山添	3	2	0
①浦上	3	0	0
⑤西平	2	0	0
③9大抜	2	0	0
⑨神橋	1	0	0
H3小橋	1	0	0
⑦宮島	1	0	0
H7玉本	1	0	0
23		2	0

【共済連】打安点

⑥福田	4	0	0
⑤山口	3	1	1
③久保	3	0	0
②小山	2	1	1
⑦山村	2	0	0
⑨1高柳	3	0	1
⑧加藤	3	1	0
①今村	2	1	1
④1甲斐	0	0	0
④針崎	3	2	0
25		6	5

大会第2日は大橋球場で準々決勝4試合を行った。第1試合は前年度優勝で推薦出場の長崎県経済連(3度目出場)が、序盤にまとめて得点を挙げ、選手権初出場の県北代表、全江迎の反撃をかわして6-4で準決勝進出1番乗りを果たした。第2試合は2年前の西日本1部大会でベスト8入りし、前年からA級登録の松浦市役所(2年連続3回目の選手権)と、2年ぶり3回目の選手権で初勝利を挙げた小長井クラブの一戦は、四回に一度は同点とされた小長井がすぐに突き放し5-3で競り勝った。第3試合は前年の西日本2部大会で4勝を挙げて準優勝。本年の西日本1部大会でも県代表で1勝挙げて、氣勢の上がる南串野球部(2年連続2回目の選手権)が、

前年県選手権準決勝で苦杯を喫した親和銀行に再度挑み、南串が四回に増田順のタイムリーで1点先取したが、その裏に親銀の岩崎から2点適時打逆転され、六回にも加点され1-3で敗れ雪辱はならなかった。第4試合は県選手権初出場だが今年の高松宮賜杯1部全日本大会に県勢として5年ぶり出場し2勝を挙げてベスト8の長崎県共済連が、6年ぶり3回目の県選手権で三度目のベスト4入りを狙う豊玉クラブに対して、立ち上がりから優位に試合を進め、左腕・高柳の好投もあって7-0でコールド勝ちした。

(平成元年10月29日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

# 経済連 反撃かわす

【準々決勝】◇第1試合◇ 振球犠盗失残併

全江迎	000 220 0	4	4	4	1	2	2	4	0
長崎県経済連	023 010 X	6	3	3	1	4	0	6	0

【二】栗原、尾崎、白石 1時間54分

## 序盤に全江迎 痛いミス

【評】序盤は県経済連のペース。三回までに5点を奪い楽勝ゲームかと思われたが、中盤に入り全江迎が猛反撃して試合が面白くなった。

4点を返され1点差となった五回裏の県経済連は二死から山口が中前打し二盗も決めて加点機を迎えた。白水は期待にこたえて中前にタイムリー打。江迎の反撃を振り切るダメ押し点となった。

全江迎は少ない安打を得点に結びつけるソツのない攻撃で四回と五回に計4点を取って粘ったが、試合の流れを変えることはできなかった。それにしても、序盤の失点が外野の返球ミスなどエラー絡みだっただけに痛い敗戦で初出場でベスト4入りはならなかった。



全江迎5回表一死三塁、博多屋の二ゴロで三塁から森堀が突っ込み4点目をかえす。

【江迎】打安点

⑥ 森堀	3	1	0
⑤① 川本	3	1	1
② 博多屋	3	0	1
④ 山辺圭	0	0	0
H4 北原	1	0	0
③ 栗原	2	1	0
①⑤ 吉永	3	0	0
⑦ 平井	3	1	1
⑨ 松本	1	0	0
9 山辺覚	2	0	0
⑧ 前田	3	1	0
			24 5 3

【経済連】打安点

⑤ 中田	3	0	0
⑧ 岩崎	4	1	1
⑦ 白石	3	1	0
② 富永	2	0	0
③ 澤村	3	1	0
① 松崎	3	2	0
⑥ 山口	2	2	0
⑨ 尾崎	2	1	2
9 白崎	1	1	1
④ 三崎	2	0	0
4 谷口	1	0	0
			26 9 4

# 小長井が競り勝つ

## 松浦5回の逸機が響く

【準々決勝】◇第2試合◇ 振球犠盗失残併 1時間53分

松浦市役所	000 200 1	3	5	0	2	1	2	4	0
小長井クラブ	110 120 X	5	2	6	4	4	2	8	0

【三】平田 【二】川上、浜崎、森

【松浦】打安点

④ 川上	4	1	0
⑤① 辻田	3	1	0
② 末永	3	1	0
③ 吉田	2	0	0
⑥ 久保田	2	0	1
①⑧ 浜崎	3	1	1
⑦ 星野	3	1	0
⑨ 小石	1	0	0
H 石川	1	1	0
9 福守	1	0	0
⑧⑤ 辻	3	0	1
			26 6 3

【評】簡単に2点のリードを許した松浦市役所だったが、四回に辻田、末永が連打。バントで送った二三塁から久保田の中犠飛と浜崎の投手強襲二塁打が出て同点としたことから試合の流れは松浦に傾くかと思われた。

しかし、その裏の松浦には三ゴロー塁悪送球やバント野選と守備の乱れが出てノーヒットで1点を献じ、また五回には四球の走者を置いて平田に左中間を破られたのは仕方ないにしても、そのあと一三塁で二盗の際に三走がスタートを切っているのに捕手が気づかず重盗を決められ小長井クラブに主導権を握られてしまった。

松浦は五回の一死二三塁の好機をモノにできなかったのも響いた。

【小長井】打安点

⑤ 鶴田	2	1	0
④ 堤	3	2	0
⑧ 有田	3	0	0
② 秀島勝	2	0	0
⑦ 平田	3	1	1
① 久保	3	1	0
⑨ 森	2	1	0
③ 牧本	0	0	0
⑥ 岡村	3	0	2
			21 6 3

# 親銀 チャンスものに

【準々決勝】◇第3試合◇ 振球犠盗失残併 1時間27分

南串野球部	000 100 0	1	0	0	1	0	1	1	0
親和銀行	000 201 X	3	3	5	0	2	0	4	0

【評】試合を終えてみると両チームとも2安打。両エースが持ち味を発揮する試合となったが地力に勝る親銀が少ない好機を確実に物にして勝ちを取めた。四回に先取されたその裏の親銀は川崎と上杉の四球で二死二三塁に岩崎が右線に弾き返して二者をかえして逆転。六回は相手内野陣の乱れと久住呂の好走塁で1点を加えた。守っては佐々田が四回に豊島と増田順の安打で1点を先取されたが、ほかの回は三人で抑える好投を見せた。

【南串】打安点

⑥ 豊島	3	1	0
⑤ 井上	2	0	0
② 増田	3	1	1
① 中村	3	0	0
⑦ 原田篤	3	0	0
④ 辻	2	0	0
⑧ 原田秀	2	0	0
③ 渡部	2	0	0
⑨ 山崎	2	0	0
			22 2 1

【親和】打安点

⑧ 丸本	3	1	0
⑤ 高柳	2	0	0
② 黒石	2	0	0
⑦ 川崎	2	0	0
③ 中田	3	0	0
R3 久住呂	0	0	0
⑨ 志賀	1	0	0
H9 上杉	1	0	1
④ 岩崎	3	1	2
① 佐々田	2	0	0
⑥ 酒井	1	0	0
			20 2 3

【豊玉】打安点

⑧ 平山	2	0	0
⑦ 松尾龍	2	0	0
⑤ 村井	2	1	0
⑥ 原田	2	1	0
③ 小田	2	0	0
① 小島	2	0	0
④ 吉村	2	0	0
② 松尾吉	2	0	0
⑨ 田中	1	0	0
			17 2 0

【準々決勝】◇第4試合◇ 振球犠盗失残併 1時間3分

豊玉クラブ	000 00	0	5	0	0	1	1	2	0
長崎県共済連	104 2X	7	0	2	1	4	0	2	0

【評】共済連は初回先頭の福田が三塁内野安打し二盗と暴投で三進。四球の山口と重盗に成功しまず1点。三回は内野安打の針崎と福田を二塁に置いて久保が中前打。これを後逸の間に久保までが一挙生還。さらに山村の三塁打に高柳の三遊間と続いて4点。

投げては左腕の高柳が四回二死後に連打されたほかは三人ずつで片付ける無難なピッチングで余裕のある勝ちっぷりだった。

【共済連】打安点

⑥ 福田	3	3	0
⑤ 山口	2	0	1
②③ 久保	3	2	3
③⑦ 山村	2	1	1
① 高柳	2	1	1
⑧ 加藤	2	0	0
⑦⑨ 今村	2	0	0
⑨ 甲斐	0	0	0
R2 小崎	1	1	0
④ 針崎	1	1	0
			18 9 6

大会最終日の10月29日は快晴に恵まれた大橋球場で準決勝と決勝の3試合が行われた。

準決勝第1試合は、三度目の出場で初のベスト4入りした小長井クラブが、前年度優勝の長崎県経済連に立ち向かったが、経済連から小刻みに得点を重ねられて1-3で無念の敗退した。第2試合は強豪ひしめく長崎地区より初出場準決勝進出してきた長崎県共済連が、佐世保地区の雄・親和銀行に挑んだが、前半から足を絡めた攻撃や、押し出し点などで2失点し荒金投手から2安打に封じられた。

この結果決勝戦は昨年と同様、経済連と親和銀行の対戦と

なった。親銀・佐々田、経済連・早川両エースの投げ合いでゼロ行進が続いたが、親和銀行が八回に決勝点を挙げ1-0で経済連を下して王座を奪回した。

試合終了後に閉会式があり、優勝の親和銀行に賞状、優勝旗、松浦杯が。準優勝の県経済連に準優勝杯が授与され個人表彰があったあと、寺田克孝・長崎新聞社事業本部長が「秋晴れのようなさわやかなプレーを展開され感謝している。第40回大会の礎に…」とあいさつ。平井清光・県軟式野球連盟理事長が閉会宣言をして大会の幕を閉じた。

(平成元年10月30日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

## 四球と失策に泣いた小長井

【経済連】 打安点

⑤	中田	1	0	0
⑧	岩崎	3	1	2
⑦	白石	3	0	1
②	富永	3	0	0
③	澤村	3	1	0
①	松崎	2	0	0
⑥	山口	3	0	0
⑨	尾崎	2	0	0
H	白水	1	1	0
④	三崎	1	0	0
		22	3	3

【準決勝】

		振球	犠盗	失	残併	1時間38分
長崎県経済連	101 010 0	3	1	2	5	1
小長井クラブ	001 000 0	1	8	0	0	1

【評】四球、エラーが命取りになる。その典型的な試合だった。小長井クラブの失点は全てそれが絡んだものだった。

経済連は初回に先頭が四球と二盗。バントで送って白石の遊ゴロで簡単に先制点。三回には再び先頭の三崎が歩いてバントで進め、岩崎が中前タイムリー。五回は一死後に遊ゴロ失、中田のバント野選で一三塁。ここで投手が無人の二塁へ牽制球を投げるボークで二三塁。岩崎の一ゴロで三走の三崎が生還。小刻みに挙げた3点のうち2点まではヒットなしで挙げた得点。

対して小長井は三回に久保と森の連打に投手暴投で無死二三塁の好機があったが岡村の三ゴロで三走が還ったのみ。スクイズを見破られて森がタットアウトされ同点にできなかったのが響いた。

小長井は2年ぶり三度目の選手権で初勝利を挙げてのベスト4。

【小長井】 打安点

⑤	鶴田	3	1	0
9	牧本	0	0	0
④	堤	2	0	0
H4	植木	1	0	0
⑧	有田	3	1	0
③	黒田	3	0	0
②	秀島勝	2	0	0
H	秀島政	1	0	0
⑦	平田	2	0	0
①	久保	2	1	0
⑨	森	1	1	0
H5	酒村	1	0	0
⑥	岡村	2	0	1
		23	4	1

## 親銀の荒金が好投 県共済連を2安打完封

【準決勝】

		振球	犠盗	失	残併	1時間20分
長崎県共済連	000 000 0	0	3	0	0	0
親和銀行	011 000 X	2	3	2	0	0

【共済連】 打安点

⑥	福田	3	0	0
⑤	山口	3	0	0
③	久保	3	1	0
②	小山	3	0	0
⑦	山村	3	0	0
①	高柳	2	1	0
⑧	加藤	2	0	0
⑨	今村	2	0	0
④	針崎	2	0	0
		23	2	0

【評】親和銀行の荒金投手が見事なピッチングを見せた。スピードはさしてないが、横手から際どいコースに投げ分け共済連打線に乗ずるスキを与えなかった。共済連は五回二死から高柳が、七回一死から久保が三遊間を破ったのみで二塁すら踏めなかった。

親和打線も3安打を記録しただけだったが、二回先頭の川崎が中越え二塁打。投ゴロで三進後に竹山のバスターは捕手前にバウンド。この間に川崎が本塁を陥れて1点先取。三回には一死後に酒井と丸本の連打で二三塁の好機をつくり高柳が凡退後に、久住呂と川崎がきわどいタマをよく選んで押し出しの1点を加えた。

共済連の左腕・高柳も四回以降は三人ずつで片付けたが時すでに遅し。前半のわずかな乱れが命取りとなった。

【親和】 打安点

⑧	丸本	3	1	0
④	高柳	3	0	0
③	久住呂	2	0	0
⑦	川崎	2	1	0
⑨	上杉	3	0	0
⑤	竹山	2	0	1
②	米倉	2	0	0
①	荒金	2	0	0
⑥	酒井	2	1	0
		21	3	1

# 親和銀行が2年ぶり優勝

## 県経済連の連覇を阻む

### 8回、待望の決勝点

【決勝】	2時間10分	併残失盗犠振							
親和銀行	000 000 010	1	4	3	0	2	0	7	0
県経済連	000 000 000	0	4	3	3	0	1	6	0

【評】なかなか見ごたえのある試合だった。立ち上がり両軍エースはやや硬くなっていたようだ。経済連の早川は一死後高柳に左前に落とされ黒石に四球で一死一二塁。親銀の佐々田は先頭の中田を歩かせバントと捕逸で一死三塁と共にピンチを招いたが、早川は親銀の主砲・川崎を二飛に打ち取り、三走の高柳を三本間挟殺に。佐々田は経済連の3、4番を邪飛と三振に仕留めて乗り切った。

その後の好機は経済連が三回に一死二塁、親銀は二回と四回の一死二塁があっただけで、淡々とした投手戦の様相を呈したが、終盤の八回に均衡が破れた。

この回の親銀は先頭の代打・久住呂が左前打で出塁するとすかさず二盗。佐々田は三振に倒れたが酒井が中前打。これを後逸して待望の1点を挙げ、これが決勝点となった。酒井の当たりが中堅手の正面浅かったためにいったんは三塁に止まった久住呂だったが走者の足に気をとられた中堅手が手痛いエラーを犯してしまった。

経済連は最終回に反撃。先頭の岩崎が右中間抜けるかと思われる当たり。俊足の丸本が回りこんで抑え二塁に向かった岩崎を好返球で寸前タッチアウト。このあと二死ながら富永の四球と澤村の遊撃内野安打で一、二塁としたが野口は三ゴロに倒れた。無死でもあり岩崎が一塁に自重していても…との見方もあろうが、ここは丸本のプレーをほめたい。



親銀8回一死二塁、酒井の中前打を後逸する間に久住呂がかえり待望の先取点。

優勝旗を先頭にダイヤモンドを一周する親和銀行チーム

- ◇最優秀選手賞 佐々田俊則(親銀)
- ◇最優秀投手賞 荒金照貴(親銀)
- ◇打撃賞 丸本優一(親銀)
- ◇敢闘賞 早川雅也(経済連)

【親和】打安点

⑧丸本	4	1	0
④高柳	4	1	0
③2黒石	2	0	0
⑦川崎	4	0	0
⑨上杉	4	1	0
⑤岩崎	2	0	0
H中田	1	0	0
5竹山	0	0	0
②米倉	2	0	0
H3久住呂	2	2	0
①佐々田	4	0	0
⑥酒井	3	1	0
			32 6 0

【経済連】打安点

⑤中田	3	0	0
⑧岩崎	3	1	0
⑦白石	4	0	0
②富永	3	0	0
③澤村	3	2	0
⑥野口	3	0	0
①早川	3	0	0
⑨尾崎	2	1	0
9松崎	1	0	0
④谷口	2	0	0
			27 4 0

### 県代表チームの全国大会戦績

天皇賜杯第44回全日本 10.14～・香川県

【一】 三菱重工長崎 2-3 信越化学武生工場(福井)

第44回北海道国体には県勢の参加なし

(成年1部) 大分(0勝)、宮崎(0勝)

(成年2部) 福岡(2勝=ベスト4)、熊本(0勝)

(壮年の部) 大分(0勝)、沖縄(0勝)

高松宮賜杯第33回全日本(1部) 8.25～・鳥取県

【一】 長崎県共済連 6-1 旭川市消防局(北海道北)

【二】 " 2-0 八郎瀨町役場(秋田)

【準々】 " 4-8 TDK(千葉)

(この年より32チーム参加)

第11回西日本(1部) 6.2～・福岡県

【一】 南串野球部 9-1 大関酒造(兵庫)

【二】 " 0-1 高知信用金庫(高知)

高松宮賜杯第33回全日本(2部) 7.29～・宮崎県

【一】 西海クラブ 3-4 神岡部品(岐阜)

第11回西日本(2部) 5.19～・山口県

【一】 エンジェルスクラブ 6-7 K・Kくらしげ(開催地)

平成元年に開催されたその他の競技会の戦績（一般のみ）

天皇賜杯第44回県予選 9.2～佐世保

厳原ワイズ(対馬)	1
大宰府クラブ(諫早)	2
菊池病院(松浦)	3
長崎県経済連(長崎)	4
小長井クラブ(北高)	0
安中クラブ(島原)	3
親和銀行(佐世保)	4
箱崎クラブ(壱岐)	0
生月体協(県北)	3
佐世保市水道局(佐世保)	0
大瀬戸クラブ(西彼)	1
有明町クラブ(南高)	2
大村市役所(大村)	4
三菱重工長崎(長崎)	7
ホワイトスターズ(東彼)	0
平戸クラブ(平戸)	0
三井楽クラブ(福江)	1

第44回国体(成年2)予選 7.1～島原

大村市役所(大村)	1
南串野球部(南高)	3
三菱重工長崎(長崎)	6
エンジェルスクラブ(佐世保)	2
吉井クラブ(県北)	4
大瀬戸クラブ(西彼)	6
鴻の巣クラブ(東彼)	11
崎山クラブ(福江)	1
小長井クラブ(北高)	2
島原市役所(島原)	0
長崎県経済連(長崎)	5
諫早信用金庫(諫早)	0
中興化成工業(松浦)	3
天満タクシー(佐世保)	2
平戸クラブ(平戸)	0

長崎県経済連は九州国体で敗退。

第44回国体(壮年)予選 6.17～上五島

メンフツ福江(福江)	6
西高コーカス(長崎)	1
東彼クラブ(東彼)	2
上五島壮年(上五島)	9
松浦壮年クラブ(松浦)	4
諫早壮年クラブ(諫早)	5
厳原壮年クラブ(対馬)	1

メンフツ福江は九州国体で敗退。

成年1部は親和銀行が推薦で九州国体(福岡)に出場も敗退

第11回西日本1部県予選 4.22～諫早

天満タクシー(佐世保)	3
一松クラブ(長崎)	5
安中クラブ(島原)	3
今福クラブ(松浦)	4
島クラブ(平戸)	0
南串野球部(南高)	1
福江球友会(福江)	2
オール田平(県北)	4
九電諫早営業所(諫早)	3
池島鋳業所(西彼)	3
小長井クラブ(北高)	2
郷ノ浦ヤンキース(壱岐)	0
中村クラブ(大村)	4
波佐見ジャイアンツ(東彼)	0

第11回西日本2部県予選 4.8～波佐見

増山建設(福江)	6
肥前クラブ(松浦)	2
諫早市役所(諫早)	0
エンジェルスクラブ(佐世保)	2
流星クラブ(島原)	1
電源開発(西彼)	0
飯盛クラブ(北高)	6
ランサーズ(東彼)	2
カルテックス(平戸)	8
九電大村(大村)	4
吉井クラブ(県北)	7
立串クラブ(上五島)	0

第12回九連会長杯予選 4.15～松浦

親和銀行(佐世保)	5
松浦市役所(松浦)	0
諫早クラブ(諫早)	4
三菱重工長崎(長崎)	1
鴻の巣クラブ(東彼)	0
轟クラブ(北高)	4
平戸クラブ(平戸)	7
長崎県経済連(長崎)	1
佐世保市水道局(佐世保)	2
小浜クラブ(南高)	7
生月体協(県北)	0
中興化成工業(松浦)	2

高松宮賜杯第33回1部 6.10～大村

大村市役所(大村)	1
有明町クラブ(南高)	2
オール田平(県北)	0
長崎県共済連(長崎)	6
千住スポーツクラブ(諫早)	0
上五島パジャマ(上五島)	3
勝本北星(壱岐)	4
大瀬戸クラブ(西彼)	10
小長井クラブ(北高)	1
闘将クラブ(佐世保)	2
東芝セラミックス(東彼)	4
島クラブ(平戸)	2
安中クラブ(島原)	4
菊池病院(松浦)	3
三井楽クラブ(福江)	1
豊玉クラブ(対馬)	4

高松宮賜杯第33回2部 5.13～対馬

志々伎ライガース(平戸)	7
九電島原(島原)	3
ランサーズ(東彼)	2
西海クラブ(佐世保)	3
管友クラブ(大村)	2
九電長崎(長崎)	2
増山建設(福江)	4
郷ノ浦ヤンキース(壱岐)	5
松浦農協(松浦)	2
豊玉コメッツ(対馬)	0
諫早市役所(諫早)	2

1部(鹿児島)、2部(佐賀)とも九州ブロックを突破して全国へ

第41回県民体育大会 11.4～長崎

(平戸)平戸クラブ	1
(東彼)鴻の巣クラブ	0
(佐世保)海自造修所	0
(島原)島原市役所	2
(諫早)千住スポーツクラブ	2
(長崎)長崎県経済連	9
(松浦)中興化成工業	2
(南松)上五島町	4
(大村)中村クラブ	0
(対馬)美津島マーシャルズ	1
(北高)小長井クラブ	3
(南高)愛野町体協	0
(壱岐)郷ノ浦ヤンキース	2
(西彼)西海棒球队	0
(福江)崎山クラブ	1
(北松)オール江迎	10